

義な講習会であった。

17 巡回スポーツ指導（壮年体力テスト会）

- (1) 期 日 昭和45年4月13日
- (2) 会 場 福島市立荒井小学校
- (3) 講 師
 仙台大学副学長 須藤 春一
 福島県教育庁保健体育課体育係長 松山 六郎
 同 上 指導主事 丹治 和一
- (4) 対 象 一般壮年
- (5) 参加者 28 名
- (6) 内 容
 ① 講 義
 ア. 健康と体力について
 イ. 体力テスト実施内容と方法について
 ② テスト会
 ③ 健康相談、血圧測定
- (7) 概 況
 受験者はほとんど初めての経験であったが、自分の体力、年齢と今後の健康管理について知ることができ、健康づくり、体力づくりに強い関心を持ち、たいへん有意義であった。

18 青少年スポーツ活動ブロックリーダー講習会

- (1) 期日及び会場
 昭和44年7月21日～22日 福島市
 昭和44年8月7日～8日 田島町
 昭和44年10月10日 小高町
 昭和44年10月13日 いわき市
 昭和44年11月23日 郡山市
 昭和45年2月28日、3月1日 会津若松市
- (2) 講 師
 ① 福島会場
 福島県山岳連盟県北支部長 武藤清次 外 4名
 ② 田島会場
 北会津村立北会津中学校教諭 石井操一 外 3名
 ③ 小高会場
 小高町立鳩原小学校長 久保田誠 外 2名
 ④ いわき会場
 福島県教育庁県北教育事務所指導主事 酒井義平 外 5名
 ⑤ 郡山会場
 福島県教育庁県中教育事務所指導主事 橋本生司 名11名
 ⑥ 会津若松会場
 会津若松市教育委員会事務局保健体育課長 鈴木 仁 外 4名
- (3) 対 象 青少年スポーツ団体のリーダー
- (4) 参加者 延 701名
- (5) 内 容
 ① 福島会場 野外活動（登山）
 ② 田島会場 球技（バレーボール、バスケットボール）

- ③ 小高会場 球技（ソフトボール、バレーボール）
- ④ いわき会場 球技（バスケットボール、バレーボール、ソフトボール）、フォークダンス
- ⑤ 郡山会場 球技（サッカー）
- ⑥ 会津若松会場 スケート

- (6) 概 況
 各ブロックとも地域の実態に即した実施計画のもと、それぞれ実施されたが、各会場とも効率的に運営され、短いながら実績をあげ、今後の青少年スポーツ活動の推進に大いに役だった。

19 家庭バレーボール大会及び40才以上のソフトボール大会

- (1) 昭和43年度より県総合体育大会の種目として実施した。
- (2) 実施市町村数
 ① 家庭バレーボール 45市町村
 ② 40才以上ソフトボール 30市町村
- (3) 参加したチーム数
 ① 家庭バレーボール 462チーム
 ② 40才以上ソフトボール 230チーム
- (4) 成 績

地区	開催地	優勝チーム	
		家庭バレーボール	ソフトボール
相 双	浪 江 町	浪江町チーム	川内村チーム
いわき	いわき市	平二小学区チーム	植田小学区チーム
会 津	会津坂下町 喜多方市	喜多方チーム	喜多方チーム
県 南	石 川 町	郡山市橘チーム	郡山市桜木チーム
県 北	福 島 市	福島一小学区チーム	福島二小学区チーム 杉妻小学区チーム

20 体育の日の行事実施

- (1) 期 日 昭和44年10月10日を中心に
- (2) 実施市町村数 47市町村
- (3) 参加人数 延 106,775名
- (4) 内 容
 ソフトボール大会、バレーボール大会等多種目にわたって実施された。

第4節 スポーツの振興

本県スポーツ振興のため、前年にひき続き、スポーツ人口の増加をはかるとともに、選手の強化につとめた。

第22回県体には1万余名の選手が参加し、134の新記録を生み、第24回長崎国体において天皇杯15位（前回20位）、皇后杯26位（前回37位）に躍進するなど好成績を収めた。また、県体参加2年目を迎えた家庭バレーボール、40才以上男子ソフトボールは県下5地区で県大会を開催し、これがもとなり、スポーツ実施が各市町村まで浸透しつつある。一方、昭和47年度全国高校体育大会の実施種目のうち、重量挙げなど5種目の本県開催が決定し、選手強化も急ピッチに行なわれ、さらに、昭和49年度国体スキー競技誘致の動きが高まりつつある。